

# コレクション展 1937—モダニズムの分岐点

## 2017年9月16日(土)—11月5日(日)

本展は、日本の軍国主義が色濃くなる一方で、モダニズムがひとつの頂点を迎えた1937年前後に焦点をあて、当時の日本の美術を紹介すると共に、前衛美術の国際的な動向をたどるものです。

今から80年前の1937年。ヨーロッパでは「パリ万博」や「退廃美術展」が開催されたこの年、中国大陸での戦争が本格化し始めました。日本の美術界では、「新文展」や大小さまざまな在野団体が発足し、また、前衛運動が活発に展開しつつも、それらは時局の流れに否応なく巻き込まれていきます。

本展では朝井閑右衛門、阿部合成、麻生三郎、内田巖、小野忠重、松本竣介、村井正誠、吉原治良などが1937年前後に制作した油彩、版画約50点を中心に、それぞれの作家が見つめていた世界を探ります。

また、1937年に東京ほかで開催された「海外超現実主義作品展」に注目し、同展を企画した二人の詩人・批評家、瀧口修造と山中散生(やまなか ちろう)がアンドレ・ブルトンらシュルレアリストたちと交わした書簡や原稿などを通して、前衛思潮の国際的な交流の一端を紹介します。あわせて、ロシア革命から20年を迎えたソヴィエト連邦の宣伝グラフィック雑誌『ソヴィエト連邦建設』や、村山知義が映画、演劇の活動などを記録した「スクラップブック」を加え、同時代のモダニズムの行方を追います。

### 【関連企画】

すべて申込不要、参加無料。ただし展示室で行われる企画は、本展または、「生誕160年 マックス・クリンガー 版画展」の当日観覧券が必要です。

#### ◆館長によるオープニング・トーク

「生誕160年 マックス・クリンガー 版画展」& コレクション展「1937—モダニズムの分岐点」について  
日時:9月16日(土) 午後2時—3時 会場:当館展示室

#### ◆担当学芸員によるギャラリー・トーク

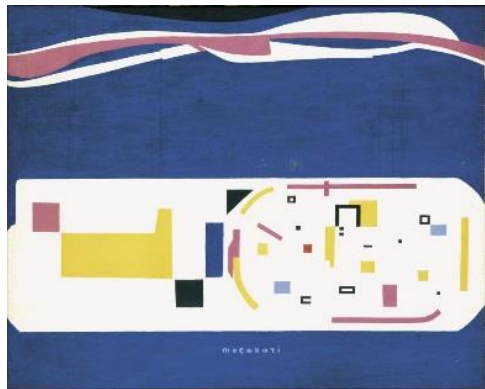
日時: 9月23日(土・祝) 午後2時—2時30分  
10月21日(土) 午後2時30分—3時  
11月2日(木) 午後2時30分—3時  
会場:当館展示室 3

#### ◆近代美術館入門講座 (葉山町共催)

「海外超現実主義作品展」(1937年)について  
講師:朝木由香(当館学芸員)  
日時:9月23日(土・祝) 午前10時—11時  
会場:葉山町福祉文化会館 大会議室

### ■同時開催

「生誕160年 マックス・クリンガー 版画展」【展示室 1&2】



1. 村井正誠 《ウルバン》1937年 油彩、カンヴァス 当館蔵



3. 雑誌『みづる』(臨時増刊号 No.388)  
海外超現実主義作品集 1937年5月  
左:カバー  
右:中表紙  
瀧口修造によるデカルコマニー  
慶應義塾大学日吉メディアセンター/個人蔵

会場:神奈川県立近代美術館 葉山【展示室 3】  
休館日:月曜日(ただし9月18日と10月9日は開館)  
開館時間:午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)  
観覧料:一般250(150)円/20歳未満・学生150(100)円/  
65歳以上100円/高校生100円

主催:神奈川県立近代美術館  
協力:慶應義塾大学日吉メディアセンター  
助成:芸術文化振興基金事業



2. 阿部合成 《鱈をかつぐ人》1937年頃 油彩、パネル 当館蔵

### 【お問合せ先】

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1  
Tel.046-875-2800 / Fax.046-875-2968  
広報担当:鈴木、高原、土居 展覧会担当:朝木、靱山

メール info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp  
公式ツイッター @KanagawaMoMA  
公式ウェブサイト http://www.moma.pref.kanagawa.jp